

# 吉田寮反対の声

## 飛弾・建本・飛弾・建本・飛弾・建本・飛弾・建本

### 機動隊が学生室内導入徹底弾圧効果! 当局の反対を絶対許さんぞ!!

全学の学生、教職員のみなさん! 我々は、腹の底からの怒りをこめて、時計台一学生部の弾圧一寮友売り出しを彈劾する。

5月18日早朝、吉田寮、熊野寮に機動隊が乱入し、計5ヶ所が捜索され、その場で寮友3名が逮捕された。「容疑はなんと「4.15会計検査院来学阻止斗争における違法侵入」というのだ。要するに、我々が、時計台に抗議に入ったことをもって「建造物侵入」というのだ。なしといつてみたが、我々は、こんなデッチあげを許しません! そして重大なのは、「事件」を当局がつくりあげ、それを警察に報告し、弾圧を要請したことである。個人の服まで「証拠」として押収していくという弾圧なのであり、それは、とりもなおさず、当局が権力に一人一人の服装までも告げていることを示しているのだ。

我々は、心底から怒った。この怒りを弾圧の張本人学生部にぶつけんと、1時半抗議行動を行った。しかし、建本、飛弾をはじめとする学生部がハルト職員どもは、学生部玄関にピケをはり、「退去」を叫んだのだ。我々は、もちろんこれを突破、学生部の中に抗議のため入った。ところ

が、あることが、学生部は、ここぞとはかり機動隊を学内に導入、学生部を包囲して寮生統一やクリを煽動したので結集した寮友の「機動隊漏れ」のシュアレヒコールで機動隊を学外に放逐したが、その場でさらにもう3名が不當にも逮捕されたのだ。

今回の弾圧は、警察権力と学生部にすり、周到に用意された、計画的な弾圧である。2月建立の過程において、自らの不正性が満天下に明らかにされるや、いよいよ、その本性があらわに、警察権力をもって暴力的弾圧にうつてこだきたのだ。本日の抗議行動に際しても、学生部二階では、



飛弾、建本ガチモ殴に襲い乃至リ、タオル、覆面をはぎ

顔写真をとり、再び三たひの弾圧を策したのだ。

しかし、この無茶苦茶な敵の魔王の本質を見るならば

それはまさに、寮に対する権力の恐怖の表明でしかあり得ない。寮自主管理空間の中でも、寮生同士が共に討論し現社会状況の中でいきなり生きていかなければならぬとして其に行動していくことへの恐怖だ。とりわけ、5

月22日三里塚現地斗争、23日狹山差別裁判弾圧斗争への寮の取り組みに対する予防弾圧であることは明らかである。4月の「事件」から1ヶ月もたたったこの日を故意的に選んでいることに示されているだろ。だから、この弾圧は権力の弱さでしかない。正義性を持てない万能暴力をもってしか、我々に対処できないのである。

現在、確実に敵は大きな武銃刀をもっている。しかし我々は、一の弾圧には、十の因縁と重なる斗争を前置して斗、いくならば、敵は、たちうちでききない。最終的に我の大衆的実力斗争の爆発をもって、彼らの死命を制すをみる。弾圧に打ち勝ち、勝利する展望は、ここにある。

すべての学友諸君! 今回、我々にかけられた、この弾圧の本質を見抜き、共に仲間として、共に立ち、行動していくうではないか。すべてのクラス、サークルで討論の嵐をまき起こそう。

勝利の日まで、共に斗ねん。

# 能理寮自治会